

野菜の需給・価格動向レポート(平成２３年８月１日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		6月の価格動向		7月の価格動向		生育及び価格の8月の見通し		
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別 平均販売価額			
					上旬		中旬	
葉 茎 菜	キャベツ	67.2	75	74.19	101	93	・入荷見込量：15,310t (100) ・主産地：群馬(77)、岩手(12)、北海道(6)	・群馬産は春先の低温、7月の急激な気温上昇で生育が遅れ少なめの出荷となっていたが、生育が回復し今後は平年並みの出荷となる見込み。岩手産は暑さと少雨で少なめの出荷だったが、7月中旬の台風の降雨で生育は回復傾向となり、出荷量は少なかった前年よりは多い見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		81.66	88	93.59	122	102	・入荷見込量：4,000t (100) ・主産地：群馬(70)、長野(26)	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	264.1	253	273.33	272	289	・入荷見込数量：4,168t (100) ・主産地：茨城(34)、青森(23)、秋田(7)、千葉(7)、輸入(6)、北海道(6)、埼玉(4)	・茨城産は作柄、肥大が良好で平年並みの出荷の見込み。青森産は天候の回復とともに生育は順調となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		334.73	336	512.77	432	415	・入荷見込数量：190t (100) ・主産地：香川(28)、大阪(19)、徳島(13)、奈良(12)、高知(8)	
	はくさい	67.05	63	82.17	63	56	・入荷見込量：5,743t (97) ・主産地：長野(86)	・長野産は少雨の影響で一部病害がでているが、概ね順調な出荷となっている。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要が減退しているため価格は平年を下回って推移する見込み。
		82.06	67	98.58	64	54	・入荷見込量：2,350t (105) ・主産地：長野(98)	
	ほうれんそう	376.1	435	583.95	543	577	・入荷見込量：657t (97) ・主産地：栃木(33)、群馬(24)、茨城(14)、岩手(14)	・栃木産、茨城産は7月の高温の影響で一部のほ場で生育停滞がみられるものの、全体では平年並みの出荷となっている。群馬産も生育は順調であるものの、高温の影響での生育停滞が懸念される。 ・やや少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。
		396.89	562	670.86	666	705	・入荷見込量：380t (101) ・主産地：岐阜(86)、北海道(8)、	
	レタス	126.45	107	126.45	104	96	・入荷見込量：8,400t (100) ・主産地：長野(85)、群馬(11)	・長野産は作柄は順調で大玉傾向となっており、前年より多めの出荷となっている。群馬産も順調な出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		132.22	116	132.22	104	92	・入荷見込量：1,750t (102) ・主産地：長野(99)	
	たまねぎ	71.02	68	84.85	66	60	・入荷見込量：10,368t (104) ・主産地：佐賀(32)、兵庫(29)、北海道(27)、輸入(2)	・佐賀産は貯蔵ものの出荷となり、前年より多めの出荷となっている。兵庫産も貯蔵ものの出荷となり、やや大玉傾向で前年並みの出荷となっている。北海道産は、春先の長雨の影響で生育に1～2週間の遅れがでている。一部電害があったが、少なかった前年よりは多い見込み。 ・府県産の潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		71.02	68	84.85	71	69	・入荷見込量：3,600t (99) ・主産地：兵庫(82)、北海道(9)	
果 菜	きゅうり	189.84	287	210.69	304	227	・入荷見込量：7,772t (97) ・主産地：福島(45)、岩手(23)、秋田(10)、宮城(6)	・福島産は気温の上昇とともに出荷量が回復し、上旬が出荷のピークとなる見込み。岩手産は低温と少雨の影響で少なめの出荷となっている。 ・福島産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		177.22	290	221.71	280	256	・入荷見込量：2,200t (100) ・主産地：福島(44)、愛媛(19)、北海道(16)	
	トマト	209.6	315	218.58	351	338	・入荷見込量：8,788t (100) ・主産地：青森(25)、福島(19)、北海道(11)、群馬(11)、岩手(11)、千葉(7)、秋田(6)	・青森産は本格的な出荷開始となり、生育は順調で前年並みの出荷となる見込み。福島産は出荷の谷間となりやや少なめの出荷となっているが、高冷地の出荷も始まり今後は出荷量が増加する見込み。 ・東北産の夏秋ものの出荷が本格化したことから、価格は平年より高めながら落ちついてくる見込み。
		228.5	340	271.33	370	381	・入荷見込量：2,100t (106) ・主産地：岐阜(37)、北海道(32)、岡山(14)、愛媛(6)	
	なす	297.1	469	209.55	372	279	・入荷見込量：5,425t (100) ・主産地：栃木(32)、群馬(24)、茨城(23)、埼玉(9)	・栃木産は、6月後半の猛暑の影響で花落ちし、平年より少なめの出荷となっているが、今後は生育が回復し平年並みの出荷となる見込み。群馬産、茨城産は前年並みの出荷となる見込み。 ・栃木産の出荷量の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づいてくる見込み。
		285.3	374	221.72	336	320	・入荷見込量：1,300t (98) ・主産地：徳島(30)、山梨(15)、京都(11)、大阪(11)、奈良(9)、福島(7)、愛媛(7)	
	ピーマン	251.5	368	251.5	444	378	・入荷見込量：2,018t (100) ・主産地：岩手(46)、茨城(19)、青森(14)、福島(12)	・岩手産は、高温と少雨の影響で少なめの出荷となっている。作付面積は増えているので、適度な降雨があれば前年並みの出荷となる見込み。茨城産は生育、肥大ともに順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・岩手産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は平年並みに近づいてくる見込み。
		253.95	427	253.95	461	457	・入荷見込量：410t (94) ・主産地：兵庫(18)、北海道(17)、福島(16)、愛媛(13)、大分(9)、青森(7)、宮崎(6)	
根 菜	だいこん	91.15	87	99.58	87	87	・入荷見込量：9,304t (102) ・北海道(66)、青森(21)、岩手(9)	・北海道産は一時的に出荷量が増大していたが、徐々に落ち着く見込み。青森産は、順調な生育で少なかった前年を上回る出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		104.71	100	111.54	89	92	・入荷見込量：3,000t (110) ・主産地：北海道(70)、岐阜(15)	
	にんじん	133.01	102	133.01	112	100	・入荷見込量：5,540t (101) ・主産地：北海道(81)、青森(9)、輸入(6)	・北海道産は5月の低温の影響をうけて8月上旬はやや少なめの出荷となり、盆明けから本格的な出荷となる見込み。青森産は作柄が良好で順調な出荷となっているが、出荷の終盤を迎え減少傾向。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		139.6	116	139.6	117	103	・入荷見込量：2,200t (105) ・主産地：北海道(85)、長崎(6)	

種類		6月の価格動向		7月の価格動向			生育及び価格の8月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額 下旬	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別 平均販売価額		
					上旬	中旬	
いも	さといも	344	414	344	349	315	・千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷となっている。宮崎産は天候の回復により生育が回復し徐々に出荷量が増え、下旬には本格的な出荷を迎える見込み。 ・価格は平年並みに推移する見込み。
		347.9	437	347.9	388	357	
	ばれいしょ	131.8	142	96.77	116	92	・北海道産は、少なかった前年よりは多く平年並みの出荷の見込み。茨城産、青森産は順調な出荷となっている。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。
		131.8	156	96.77	122	91	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,904gで対前年比98%、購入金額は、1,857円で同97%となり、購入量、購入金額ともに前年を下回った。

また、小売物価統計によると、7月のキャベツの小売価格は185円で過去5年平均比120%、レタスは313円で同98%となり、キャベツ、は過去5年比を上回り、レタスは同比を下回った。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5カ年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	127	69	399	277	69
6月	159	106	67	360	306	85
7月	154	185	120	320	313	98
8月	170		0	493		0
9月	159		0	483		0
10月	158		0	474		0
11月	155		0	359		0
12月	146		0	442		0

注1：過去5カ年はH18～H22の平均

注2：7月の値は、7月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年6月までの輸入量を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年同期比124%の51万トン、野菜輸入量全体では同114%の140万トン、うち中国は同117%の69万トンになり、引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～6月		平成23年6月
		前年比		前年比	前年同期比	前年同月比	
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	510,852	124	110
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	893,300	109	99
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	1,404,152	114	102
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	692,093	117	99
中国産シェア	50		51		49		

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.7	(B)2011.7	(B)/(A)
たまねぎ	合計	18,462	11,423	62
	中国	18,272	11,210	61
	オーストラリア	28	169	604
にんじん	合計	6,965	3,332	48
	中国	6,405	2,879	45
	ニュージーランド	426	240	56
ねぎ	合計	4,083	2,767	68
	中国	4,081	2,766	68

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.7）は、7月16日までの速報値である。

4 トピック

きゅうりの価格動向について 夏秋もののきゅうりの出荷が本格化してきた。 6月末から7月初めにかけては、平均価格を大きく上回る水準であったものの、出荷の本格化に伴い、価格は落ち着いてきた。その中で産地別にみると前年は他県産より高い水準で推移した福島産の価格が今年は下落してきている。 これは、出荷量が急速に増加したという事情に加え、9日に福島から出荷された牛からセシウムが検出された問題が心理的に影響を与えている可能性がある。 しかしながら、最近では需要が回復してきていることから、価格は回復傾向にある。	東京都中央卸売市場におけるきゅうりの卸売価格動向 (2011年6-7月) きゅうりの卸売価格動向(2011年) きゅうりの卸売価格動向(2010年) 資料：「ペジ探」、原資料：農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 <http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01.000076.html>